



学生諸君への注文

教育学部助教授 道又健治郎

長期間にわたった高度成長期にもそれ程目立った予算上の恩恵を受けなかったにもかかわらず、本学の中央図書館や学部図書室は、関係者の努力によって曲りなりにも学生諸君の学習の場として一定の機能を果せるようになってきたと思う。わたしが見た資料に誤りがなければ、中央図書館の教官指定図書コーナーなどは東大図書館のそれよりも充実しているようである。もち論、そうはいつでも研究図書館という機能を含め本学の現状が決して満足すべき状態になることは、改革検討委員会第1-2専門委員会の報告書をはじめ数多くの指摘が示すとおりであろう。しかし、大学図書館が充実した機能を発揮するためには利用者側の適切な活用という問題が一方にあることを忘れてはならない。そこで以下では学生の現状と関連した問題点を提起してみたい。

「この頃の学生は」という云い方をわたしは好まないが、学生諸君との接触をつうじて痛感している不満がある。それは、学生諸君があまり本屋へ行かなくなったこと、専攻以外の本を買わなくなったこと、読書領域があまりにも狭くなったことである。その影響であろうが、大学のカリキュラムや教官の講義の枠内でしか発想できない視野の狭い学生が増え、高校生的レベルの発想しかできない者も珍しくない現状である。学生諸君が教官指定図書コーナーを利用して勉強することは望ましいことに違いないが、どうもわたしにはその多くが高校時代における予習、復習のような受動的域を出ていないような感じがするのである。わたしは、学生が講義だけにとらわれず自らの意志で文学、哲学、社会科学などの諸領域の書物を自由に読み、それによって豊かな人間形成をはかる条件を保障しているところに教育機関としての大学の特質のひとつがあると考えているのだが、こうした恵まれた条件を生かし青年期特有の鋭い感受性で徹夜の読書によって、人間形成に資するといった生活が学生諸君のなかに十分に定着しているように思えない。

わたしがいまの教養部にあたる旧制高校へ入学したのは敗戦の翌年の1946年のことだが、在学中に当時プロレタリア文学の重鎮だった中野重治が平野謙の小林多喜二評価に徹底した反論を加えるという論争が起り、それをめぐって理科の連中も含めて真剣な応酬が行なわれたことをいまでも思い出す。専攻分野に限った場合には、よく勉強する学生も少なくないことを知っているが、それに並行して他分野の読書を通じて自分の人間的成長をはかるというタイプの学

生となると意外に少ないのが現状ではなからうか。そうだとすれば、さびしい限りである。

「仏作って魂入れず」という言葉があるが、いくら図書館が整備拡充されたとしても、愛読書の一冊も持たないような学生諸君が多くては大学図書館の教育機能は発揮されない。こんにち、学生運動の一部に見られる内ゲバなどの退廃現象も、以上の指摘とかかわると思うのだが、わたくしの誤りだろうか。

◆ 会 議

第73回 図書館委員会

〈と き 昭和50年5月20日(火)〉

〈と ころ 附属図書館会議室〉

- 1.昭和49年度決算報告について
- 2.昭和50年度予算(案)の提出について
- 3.昭和51年度概算要求について
- 4.報告事項
- 5.その他

第37回 教養分館委員会

〈と き 昭和49年10月29日(火)〉

〈と ころ 教養分館長室〉

- 1.昭和49年度後期演習室使用について
- 2.教官指定図書、参考図書入荷状況中間報告
- 3.その他

第38回 教養分館委員会

〈と き 昭和50年2月25日(火)〉

〈と ころ 教養分館長室〉

- 1.委員の推せんについて
- 2.その他

第39回 教養分館委員会

〈と き 昭和50年5月19日(月)〉

〈と ころ 教養分館長室〉

- 1.昭和49年度決算報告について
- 2.昭和50年度予算(案)の提出について
- 3.昭和51年度概算要求について
- 4.昭和50年度前期演習室の使用について(案)
- 5.その他

第40回 教養分館委員会

〈と き 昭和50年6月17日(火)〉

〈と ころ 教養分館長室〉

- 1.昭和50年度歳出実行予算(案)について
- 2.その他

第7回 国立大学図書館協議会北海道地区協議会

〈と き 昭和50年5月9日(金)〉

〈と ころ 小樽商科大学附属図書館〉

標記会議は、道内国立7大学により開催されたが、交通スト等のため文部省情報図書館課と北見工業大学が欠席で行なわれた。協議題は次のとおりである。

- (1)図書館維持費および学生用図書購入費にかかわる必要最低基準の確立について
- (2)夜間開館手当の実績配分について

なお、(1)(2)の協議題は、第22回国立大学図書館協議会総会での地区議題として提出することになった。

第22回 国立大学図書館協議会総会

標記総会を、去る6月5・6日の2日間にわたり、文部省より吉川情報図書館課長、松村学術調査官を招き、全国国立大学の館長、部課長、事務長等約188名出席のもとに山口市民会館（会場：山口大学、当番館：中国・四国地区）を会場にして開催された。

なお今回より浜松医科大学、滋賀医科大学、宮崎医科大学が会員となった。

総会第1日目は、一般経過報告、各地区協議会の活動報告（今回より新しい試みとして設置された）、第3回日米大学図書館会議準備の進展状況、岸本奨励賞選考委員会報告、各調査研究班報告 1)図書館機械化調査研究班 2)「大学図書館改善」調査研究班 3)司書職制度調査研究班、学術情報流通体制に関する特別委員会報告が行なわれた。本年度岸本奨励賞は、図書館活動における功績で2件、次のとおり。

1) 千葉大学附属図書館「図書館で学ぶために」編集委員会：「図書館で学ぶために」の刊行とその利用にともなう図書館活動。

2) 群馬大学附属図書館機械化推進グループ：「図書館業務の機械化」

研究集会は1)研究者の情報要求と大学図書館活動。2)書誌情報の標準化。の問題提起であり、熱心に討議された。

第2日目は、分科会（第1：予算・人事 第2：運営および一般事項 第3：奉仕）に分かれ、各地区提出の議題について活発な討議が行なわれた。次いで総会の決議にもとづいて、次の事項を文部大臣宛要望することになった。1.図書購入費の増額と指定図書費・特別図書費の適用範囲の拡大について 2.夜間開館・休日開館のための体制の整備と手当の増額について 3.図書館職員の研修旅費の増額について 4.文献複写料金の改正について 5.図書館職員の本定員増について 6.図書館職員の等級別定数の枠の拡大について 7.図書館管理職員の処遇改善と課長補佐、事務長補佐の設置について 8.大規模分館の管理体制の改善について、等。

来年度第23回総会は東海地区に決定された。※地区名称変更：北信地区は北信越地区と改称された。

附属図書館「機械化準備班」議事要録

第十九回 49年10月1日

本部事務電算化準備室木村課長補佐から道内国立学校事務電算化の進捗状況及び、北大における電算化準備業務の進捗状況と、将来計画について説明を受ける。

第二〇回 49年12月26日

館内のメンバーを中心とした、原案作成グループによる、今回までに検討された下記事項について報告があった。

雑誌コード、略誌名と発行頻度、国名、通貨、書店の各コード、巻号数、価格、部局コード、初期入力フォーマット等。

◆ 研 修

漢籍担当職員講習会に参加して

高 砂 慶

昭和49年12月2日～12月7日、第3回の標記講習会が東大附属図書館を会場に開催され、これに参加しましたので、本館における漢籍の取扱い方について一私見を述べさせていただきたいと思えます。もとより、漢籍に対して全くの初心者であり愚見にすぎないかと思われそうですが、御意見をいただきたく焦点を「和漢書」に対する基本的な考え方のみに絞ることにします。

図書を整理・運用するに当り、和漢書と洋書に二大別することは、特に一方に量的偏重がない限り普通に行なわれている措置のようです。しかし、このような分割措置は果して常に有効なのだろうか。例えば、言語の障害をそれ程感じない語学のスーパーマンにとっては、同一主題図書が二分される和漢書と洋書という区分に対してさえ反対であるかも知れない。また例えば、特定地域の研究を主体とする図書館とか研究室にあっては、その地域の言語の図書を優先して独立させるであろう。あるいは、古書を多く所蔵する場合は、古書と新書の別を第一におくかも知れない。その図書館の性格、奉仕の対象によって自ら分割法に差異が生ずる。特定の主題に偏らず、図書館の性格を決定づける程の特異なコレクションも有しない一般的な総合図書館の場合、特定の利用者のための排列法は制限を受けざるを得ない。個人の蔵書→研究室図書→学部図書室→総合図書館となる程、研究者にとって排列との密着度は遠のく。最大公約的な基準の求め方が困難でかつ重要となるゆえんである。

今回の講習を受けてまず検討をせまられた点は、従来一括処理されてきた「和漢書」の分割如何についてである。恐らくこの一括された概念は、明治期頃迄の教養人の常識から生じたものであろうが、近・現代の口語中心の中国書はもとより、文語体の古典漢文についても、これらを母国語並に扱うことは、今日ではもはや不自然な感じがしないだろうか。しかし、漢籍が量的に僅かであれば、敢えてこれを和書から切離す必要もないであろうが、将来これの充実を図るとなればどうなるであろうか。文学部蔵書との合体が考えられる場合には大きな問題となろう。それと漢籍が他に対し際立つ特徴は、伝統的な四部分類法の存在である。標準分類法の採用が図書館内外に対する責務の一つであるとするなら、漢籍の扱い方において四部分類法を無視することは現在考えられない。従って和漢書の統一はもともと無理を伴っているものであり、ある段階に至れば分離せざるを得ないであろう。なお、長沢規矩也氏によれば、分割の順位はまず和漢書と洋書に、和漢書のうち古書も多く所蔵する場合は次に古書と新書に、更に古書が和漢各れも多い時は古書の和と漢とに分けるのが適切である、と述べている。「漢籍整理法」汲古書院、昭和49、P、92)

本館の漢籍は従来「和漢書」の扱いの中でDDC分類され和書と混排されてきたのであるが、最近、保存出納上線装本については立架するために帙を作りかつ別置した。これを機会に分類について、現在の精度に一致しない過去の粗い番号のものが大部分である事情や、文学部の漢籍との関連、標準分類法に対する配慮からも、四部分類に変更するのが極めて自然である。そ

の際問題となるのは、和漢書対洋書というパターンを維持し時代区分を優先させた場合の四部分類法であるのか、あるいは、和漢書を言語区分した場合のそれであるのかによって、利用者層に様々な影響を与える点であろう。前者であれば、四部分類されない新書の大部分は和書に混排される。同一主題図書の分散は防げるが、漢籍を主たる研究対象とする場合には不都合である。後者はこの反対になるだろうが、特に同一主題の分散については、近・現代中国書の分類法を和書と一致させる場合はともかく、例えば一般的と考えられるNDC（京大人文研・東大東洋研漢籍分類目録）を採用するなら、同一館内での複数の排列法の存在は、分散度・複雑さを増すことになりかねない。

しかし、結論的には、「和漢書」が当初持っていたであろう実質的結合関係を今日どの程度認めるかに関わる問題だと思われませんが、この考え方の前提には、図書接近の出発点をごく一般的に集約するなら、母国語であるか否か、にあるのではなかろうかという推定があり、少なくとも四部分類を必要とする程の古書を所蔵する場合は、和漢書の統一分類は崩れる訳であり、それならば時代区分よりは言語区分の優先が今日的ではないだろうかと判断してみましたが、単に特定の利用者層の側にとっての問題ではなく、図書館が全体の利用者に公平にサービスしていかなければならない立場にあることを含め、現実的・具体的には、書庫内の配置計画、目録体系のあり方に直接降りかかっている問題ですので御批判いただければ幸いです。

資料紹介

昭和49年度特別図書購入費で購入した図書（I）

Collection des principaux économistes. (主要経済学者著作集)

E・デールの編集したこの著作集は、1843～48年に出版されたもので、ヨーロッパの古典経済学史研究にとって不可欠の基本文献である。（今度の購入は、1966年にO. Zeller社から出されたりプリント版である。）

この集成の特徴は、(1)今日では入手がきわめて困難な著作が数多く含まれていること。(2)主要な著作に、J. A. ブランキ、P. ロッシ、H. セーなどの詳細な注解、解説、歴史約評注などが豊富に付されていること。したがって、それら自体が学説史の研究対象となりうること、などがあげられよう。

その内容の大略は以下の通りである。

第1巻、18世紀の財政学者たちとして、Vauban, Boisguillebert, J. Law, Melon, Dutotの著作が含まれている。第2巻はフィジオクラートで、Quesnay, Dupont de Nemours, L'Abbé Baudau, Le Trosneなどが含まれている。第3～4巻は、Turgotの著作、第5～6巻は、Garnier訳、J. A. Blanqui校訂の、Smithの『国富論』で、BuchananをはじめとしてMcCulloch, J. Mill, Malthus等々のコメントが収録されている。第7～8巻はMalthus, 第9～12巻はJ. B. セー、第13巻は、Constantio訳のRicardoの『原理』が収められており、これに

たいする Sismondi, Rossi などの注釈が付されている。そして、第14～15巻にはその他として、D. Hume, Forbonnais, Condillac, Lavoisier, Lagrange, Franklin, Necker, Galiani 等の著作が含まれている。

Les révolutions du XIX^e siècle. 1st series 12巻 : 1830—1834

(19世紀革命資料)

これは、フランスの19世紀の革命思想を中心とした社会、経済思想関係の資料集である。このシリーズは、7月革命以後、1834年4月までの間に、共和主義者、共有主義者たちが公刊し、あるいは秘密裡に流布したパンフレット類等の小刊行物を中心とした479点の資料集成(リプリント)である。(1974年、デッカー社刊)

これらの資料は、これまで二次資料を通じて間接的にしか垣間見ることしかできなかった稀覯的なものを多数含んでいる。フランス史一般の研究はもとより、社会・経済思想史、労働運動史などの研究にとって益するところ大なるものと言えよう。

以下、各巻毎の分類タイトルを紹介する。

1巻、共和主義者の結社の出版物、1830～34年、(76点)。2巻、「人民の友」社の出版物、1830～32年、(28点)。3巻、「人権と市民権」協会と出版物、1832～34年 (38点)。4巻、労働運動の発生 1830～34年 (34点)。5～6巻、リヨンの社会運動、1830～34年 (53点)。7巻、ブオナロッチ、アルジャンソン、L. A. ブランキ、ラポヌレー等の革命家の著作、1830～31年 (41点)。8巻、カベと「人民」の出版物、1831～34年 (33点)。9巻、プロヴァンスにおける共和主義の宣伝、1830～34年 (48点)。10巻、「トリビュノー」以前の共和主義的出版物、1831～34年 (15点)。11巻、「トリビュノー」以前の共和主義者たち、1831～34年 (13点)。12巻、大衆的印刷物とその他の記録類、1830～34年 (100点)。

International Congress of Psychology.

これは、国際心理学会における研究発表とシンポジウムの記録集である。同会議は、1889年の8月にハリで開催された以降、ほぼ3年に1回世界の主要国で開かれて来た。第2次世界大戦による中断のあと、エディンバラにおいて1948年に再開、以来モントリオール、ブラッセルなどを経て、第20回目の会議が、1972年に東京で開催された。会議の内容は初期の頃からすでに多岐にわたり、研究分野は知覚の実験心理学から、行動障害の臨床診断に及んでいる。近年の報告には研究の分野は同じでも、技術的進歩のあとが著しく、分析が精密になって行く傾向が認められる反面、心理学の体系性についての反省が希薄化する傾向が読みとれる、等々19世紀末から最近に至る心理学の歩みを知る上で貴重な資料である。

Special Reports on Educational Subjects 1896—1914 28 Vols & 2

Supplements. (内外教育問題特別調査報告書)

本調査報告書は、英国教育調査広報部が、イギリスにおける比較教育学・教育行政学者マイケル・サドラー (1861～1943) を中心に、内外の教育学者、行政家の協力のものに作成したも

のである。当時、英国は、初等教育の拡充、中等および技術教育制度の確立、それらのための中央地方教育行政機構の整備などが急務とされていた。本報告書はかかる政策的背景のもとに企画されている。したがって、内容は、教育にかかわる法令・制度・内容・方法・教員養成・大学教育など広汎にわたり、調査対象国も英国を含み西欧諸国、英領植民地（カナダ、アフリカ諸国、オーストラリア、中央アメリカ、アジア諸国、その他）、アメリカ合衆国その他となっている。なお、本報告書は、ケンブリッジ大学教育学研究所その他の協力で、再刊されたものである。

Pulse of Life (生命の脈動)

この映画は救急蘇の方法を一般人向けにつくられたものである。具体的な手技とそれらの簡単な理論の解説がなされている。一般教養学生などを対象とした教育用映画として格好のものである。

Communist Party of Great Britain Series 3 : Theoretical Journals, 1921-72 and Continuation.

(イギリス共産党重要資料集・シリーズ3：理論誌)

本資料は、イギリス共産党重要資料集として刊行中のシリーズ集の一部であり、同党が創立以降これまで出版してきた理論機関誌が収録されている。われわれは、本資料によって20世紀初頭以降のイギリスにおける階級闘争の展開過程のなかで、共産党に代表される階級的革命的潮流がいかなる路線のもとでいかなる運動を指導してきたかを知ることができる。'70年代に入って国際労働運動についての科学的批判的総括がなされつつある今日、イギリス労働党の主流たる右翼的潮流との闘い、それと関連する共産党の労働党への団体加盟運動、大々的な工場委員会運動および少数派運動、イギリス労働運動にとって記念すべき20年代の「暗い金曜日」と「赤い金曜日」事件、30年代に高揚した全国失業労働者運動、スペイン共和国支援活動を契機とした反ファシズム統一線運動、世界労連の結成と分裂、それに関連したTUC多数派との闘い、第二次大戦後の国有化評価問題、ストックホルム・アピール以降の平和運動、反革命的ハンガリー事件、党綱領「社会主義のイギリスへの道」そうして最近では50日間の炭鉱全国ストに示される運動の高揚を支える統一戦術、統一戦線理論、社会主義革命途上における民主主義と複数政党等々についての理論的諸論文が収録されている本質資料は、帝国主義段階における労働問題、政治問題を専攻する関係者にとって不可欠の研究資料といえよう。

◆学術雑誌総合目録 自然科学欧文編1975の完成について

このたび、上記総合目録が刊行され既に学内部局の図書室等でご覧の方が多いと思います。当大学も各部署で記入された所蔵データが登載されております。

この総合目録は1966年版(旧版)をもとに、コンピュータを初めて導入して編集・出版を企画し完成したものである。収録機関321(862箇所)、収録誌数33,898誌にのぼるデータを着手以来1年3ヶ月という短時日の間に完成した。

今回の総合目録データをもとにし1年ごとに補遺版を、4年ごとに改訂版を刊行する予定である。また個別版として大学・学部版及び地域等の目録作成も可能である。

この総合目録の記載及び利用について不備な点があろうかと思われませんが、各部局よりご教示いただき改善し充実することが望ましいと思います。より多く各方面で活用されることを期待しております。

◆受 贈 図 書

本学、工学部建築工学科建築構造第一講座教授、酒井良男殿（札幌市北区北17条西7丁目）から北大生であった御子息、故酒井清殿の山岳遭難による御逝去を銘じて教養部学生のために30万円相当の図書の寄贈があった。図書の内容は生前山を愛した御子息を偲び237冊の山岳関係図書を集めたものである。

なお、これは教養分館所蔵の山岳関係図書に加えて、特色のある一つのコレクションとなり、より一層利用者の便に供されるものと考えられる

1. 山岳関係図書

ジェームス・アルマン著 エヴェレスト登頂記 外 236冊

◇統 計◇

部 局 別 蔵 書 冊 数

(昭和 50年 3月31日現在)

部 局	和 書	洋 書	合 計	備 考
文 学 部	106,290	89,147	195,437	
教 育 学 部	26,073	13,854	39,927	
法 学 部	(1,735) 36,142	(17,346) 75,283	(19,081) 111,425	(内)スラブ研究施設
経 済 学 部	55,602	31,201	86,803	
理 学 部	34,520	90,490	125,010	
医 学 部	44,408	56,064	100,472	附属病院含む
歯 学 部	4,737	4,606	9,343	〃
薬 学 部	2,510	6,539	9,049	
工 学 部	113,146	94,480	207,626	
農 学 部	121,481	82,279	203,760	附属農場・附属演習林含む
獣 医 学 部	6,709	12,953	19,662	
水 産 学 部	50,090	28,855	78,945	
低温科学研究所	4,338	8,442	12,780	
応用電気研究所	3,261	6,901	10,162	
触媒研究所	1,329	5,160	6,489	
免疫科学研究所	1,007	3,214	4,221	
教 養 部	21,855	10,485	32,340	
事 務 局	434	0	434	
学 生 部	462	71	533	
大型計算機センター	234	282	516	
附 属 図 書 館	206,152	86,291	292,443	
教 養 分 館	49,461	7,704	57,165	
合 計	890,241	714,301	1,604,542	

昭和49年度 部局別図書、雑誌受入冊数

区分 部局	和 書					洋 書					備 考
	購入 (単)	購入 (雑)	寄贈 (単)	寄贈 (雑)	小計	購入 (単)	購入 (雑)	寄贈 (単)	寄贈 (雑)	小計	
文 学 部	2,196	151	159	8	2,514	3,601	66	162	0	3,829	
教 育 学 部	1,805	86	127	173	2,191	467	46	5	0	518	
法 学 部	674	77	95	200	1,046	1,404	750	1,227	89	3,470	
経 済 学 部	1,016	603	576	781	2,976	1,304	436	118	24	1,882	
理 学 部	973	46	38	107	1,164	2,215	1,279	27	376	3,897	
医 学 部	776	314	46	194	1,330	520	1,432	31	61	2,044	
歯 学 部	441	224	5	0	670	358	433	3	0	794	
薬 学 部	24	18	11	15	68	48	8	330	0	386	
工 学 部	4,306	649	375	687	6,017	1,746	1,505	48	260	3,559	
農 学 部	2,957	270	0	129	3,356	828	629	0	100	1,557	
獣 医 学 部	145	22	7	108	282	186	235	4	176	601	
教 養 部	202	0	0	0	202	165	0	0	0	165	
水 産 学 部	1,395	189	69	165	1,818	359	532	0	285	1,176	
低温科学研究所	138	41	0	39	218	305	255	0	77	637	
応用電気研究所	172	44	0	0	216	185	335	0	0	520	
触媒研究所	77	25	0	23	125	168	180	6	41	395	
免疫科学研究所	37	0	0	0	37	70	162	0	0	232	
事 務 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学 生 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大型計算機センター	29	13	0	0	42	14	19	0	0	33	
図 書 館	2,649	402	1,232	906	5,189	737	355	191	138	1,421	
教 養 分 館	2,010	214	294	2	2,520	111	33	0	0	144	
合 計	22,022	3,388	3,034	3,537	31,981	14,791	8,690	2,152	1,627	27,260	

昭和49年度 附属図書館利用統計

閲覧室名	一般閲覧室		開架図書室		語学演習室 (巻)	参考図書室 (人)	北方資料室 (人)	合 計
	館内閲覧 (人)	館外貸出 (人)	館内閲覧	館外貸出 (人)				
開館日数	290	290	279	279	279	290	290	
文学部	234	979	(入室者統計なし)	2,298	545	647	223	
教育学部	51	82		618	188	200	58	
法学部	404	983		4,081	260	2,063	58	
経済学部	88	322		2,114	660	296	39	
理学部	53	94		2,908	437	407	16	
医学部	13	14		293	152	50	4	
歯学部		13		366	17	62	12	
薬学部	4	1		535	8	36	41	
工学部	36	48		1,549	53	222	103	
農学部	32	73		1,454	252	110	167	

閲覧室名	一般閲覧室		開架図書室		語学演習室 (券)	参考図書室 (人)	北方資料室 (人)	合 計
	館内閲覧 (人)	館外貸出 (人)	館内閲覧	館外貸出 (人)				
獣医学部			(入室者統計なし)	42	25	23	1	
水産学部	3					5		
教養部	263	512		4,031	929	605	60	
各種学校	2	4		233	14	0	8	
各研究所						22	0	
教 官	61	1,571		242	32	—	—	
院 生	74	2,090		830	73	—	—	
職 員	28	326		855	303	—	—	
学 外 者	315	157		20	28	293	634	
利用者合計	1,661 ¹⁾	7,269	—	22,469	3,228	5,041	1,424	—
利用冊数	3,326	17,832	22,491	26,576	3,976	377 ²⁾	1,384 ²⁾	75,962

1) 図書の貸出しをうけた人数 (座席だけの利用者は含まず)

2) 館外貸出冊数 (室内利用は含まず)

昭和49年度 附属図書館マイクロ・電子複写業務実績 (館内分を除く)

申 込 者	複写種類	件 数 ^(注) (件)	複写論文 点 (点)	マイクロ フィルム (コマ)	マイクロ フィッシュ (枚)	引伸焼付 (枚)	ゼロックス (枚)
学 内 者		1,684	2,200	4,975	60	18,242	25,345
学 外 者		1,946	3,871	41,523	0	6,538	43,625
合 計		3,630	6,071	46,498	60	24,780	68,970

(注) 件数は申込延人数と同じ (複写不能分は含まず)

昭和49年度 学外への文献複写申込件数 (参考掛経由の分)

部 局	文学	教育	法学	経済	理	医	歯	薬	工	農
件 数	365	120	152	51	160	5	26	19	163	76
部 局	獣医	水産	低温	応電	触媒	結研	教養	附属 図書館		
件 数	36	46	11	8	0	2	0	3		1,233

うち国外申込件数 355件 (アメリカ227, 西ドイツ35, イギリス31, フランス17, オランダ11, カナダ8, オーストリア4, 東独4, オーストラリア3, その他14)

昭和49年度 図書館相互貸借 (参考掛経由の分)

他館への貸出 106件
 他館よりの借用 51件 (うち国外より2件) レーニン図書館

昭和49年度 教養分館閲覧統計表

(開館日数 290日)

館外貸出統計表 (所属別)

昭和49年4月1日～昭和50年3月31日

学 部	文 学	教 育	法 学	経 済	理 学	医 学	歯 学	薬 学	工 学
冊 数	1,386	184	838	803	1,772	1,332	385	316	2,528
人 数	834	100	498	490	1,078	853	203	192	1,503
学 部	農 学	獣 医	教 養	附属施設	大学院	教 官	職 員	学 外	合 計
冊 数	715	231	52,207	775	164	242	1,724	16	65,618
人 数	363	140	36,370	441	84	127	993	7	44,276

館外貸出統計表 (分類別)

類 別	0	1	2	3	4	5	6	7	8
冊 数	255	4,383	371	6,627	1,402	24,086	1,709	1,840	13,382
類 別	9	文庫・新書	雑 誌	テ ー プ	学部生への 指定図書				合 計
冊 数	4,533	6,021	79	142	788				65,618

但し教官指定23,050冊を含む

館内閲覧統計表

類 別	0	1	2	3	4	5	6	7	8
冊 数	66	240	16	349	511	2,770	94	81	442
類 別	9	文庫・新書	雑 誌						合 計
冊 数	263	141	76						5,049

但し教官指定2,957冊を含む

入館者数

258,160

※ 8月より閲覧方式変更により館内閲覧統計は廃止

※ 8月より学部学生への教官指定図書の館外貸出開始
(1人1冊)

1975年版外国雑誌新規購入等リスト (※印は前金)

新 規

- 1 Abridged Index Medicus.(A) [IG] Ki
- 2 Alloys Index.(A) [KG] Ki
- 3 American Journal of Human Genetics.(A)[IG]Ki
- 4 American Journal of Orthopsychiatry.(A)
* [KyG] Ko
- 5 Anglo-American Law Review.(C) [HG] Ki
- 6 Annales Roumaines de Mathematiques.(Ru)
[RG] Ki
- 7 Anthropologica.(C) [BG] Ki
- 8 Antiturst Bulletin.(A) [HG] Na
- 9 Applied Science & Technology Index.(A)
[KG] Ki
- 10 Arctic Anthropology.(A) [L] Na
- 11 Autogestian.(F) [KeG] Ki
- 12 Biometrische Zeitschrift.(G) [NG] Ki
- 13 Biomineral.(G) [Kyo] Ma
- 14 Biotelemetry.(S) * [OK] Ki
- 15 Boundary-Layer Meteorology.(H) [TK] Ma
- 16 Bulletin. Institute of Mathematical Statistics.
(A) [RG] Ki
- 17 Bulletin et Annales de la Societe Royale
d'Entomologique de Belgique.(Be) [NG] Ma
- 18 Business Lawyer.(A) [HG] Na
- 19 Business and Society Review.(A) [KeG] Na
- 20 Cahiers de Droit Europeen.(Be) [HG] Na
- 21 Canadian Geotechnical Journal.(C) [TK] Ma
- 22 Cell.(A) [IG] Ki
- 23 Circulatory Shock.(A) [IG] Ko
- 24 Clinical Genetics.(D) [IG] Ki
- 25 Cognition.(H) * [KyG] Ko
- 26 Columbia Journal of Transnational Law.(A)
[HG] Na
- 27 Community Dentistry and Oral Epidemiology.
(G) [ShG] Ko
- 28 Computer Survey.(E) * [CC] Ki
- 29 Cornell Law Review.(A) * [HG] Na
- 30 Current Anthropology.(A) [BG] Ki
- 31 Cytogenetics and Cell Genetics.(S) [RG] Ma
- 32 Developmental Psychobiology.(A) * [KyG] Ko
- 33 Economie Rurale.(F) [KeG] Ki
- 34 Econometrica.(A) [RG] Ki
- 35 Energy International.(A) [KG] Ma
- 36 Ethnographische-Archäologische Zeitschrift.
(G) [BG] Ki
- 37 Ethnohistory.(A) [BG] Ki
- 38 Ethnologica Europea.(H) [BG] Ki
- 39 Ethnology.(A) [BG] Ki
- 40 Ethnos.(Sd) [BG] Ki
- 41 Eurolow Commercial Intelligence.(E) [HG]Na
- 42 European Law Digests.(E) [HG] Na
- 43 Evolutionary Theory.(A) [NG] Ma
- 44 Geographical Analysis.(A) [Kyo] Ki
- 45 Georgia Journal of International and Com-
parative Law.(A) [HG] Na
- 46 High Temperature Science.(A) * [RG] Ki
- 47 Human Development.(S) [KyG] Ko
- 48 Immunogenetics.(G) [IG,MK] Ki,Ko
- 49 Immunological Communication.(A) [MK] Ko
- 50 International Journal of Mass Spectrometry
and Ion Physics.(H) [OK] Ki
- 51 International Journal of Oral Surgery.(D)
[ShG] Ma
- 52 Intervirology.(S) [IG] Ki
- 53 Ironmaking and Steel Making Journal.(E)
[KG] Ki
- 54 Islamic Review.(E) [BG] Ki
- 55 Journal of the American Society for Preventive
Dentistry.(A) [SHG] Ma
- 56 Journal of Carbohydrates-Nucleosides Nuc-
leotides.(A) [YG] Ki
- 57 Journal of Electrostatistics.(H) [KG] Ki
- 58 Journal of the Entomological Society of
South Africa.(S.Af) [NG] Ki
- 59 Journal of European Economic History.(I)
[KeG] Ki
- 60 Journal of Immunogenetics.(E)[IG,MK]Ki,Ko
- 61 Journal of Institute Animal Technicians.(E)
[IG] Ko
- 62 Journal of Mathematical Biology.(Au) [NG]
Ki
- 63 Journal of Maxillo-Facial Surgery.(G)
[ShG] Ma
- 64 Journal of Metals.(A) [KG] Ki
- 65 Journal of Molecular and Cellular Cardi-
ology.(E) [IG] Ki
- 66 Journal of Patent Office Society.(A) [HG] Na
- 67 Journal of Statistical Physics.(A) [KG] Ma
- 68 Labor Law Journal.(A) [HG] Na
- 69 Lloyd's Maritime and Commercial Law Quar-
terly.(E) [HG] Na
- 70 Mammalia.(F) [ShG] Ma

- 71 Man.(E) [BG] Ki
 72 Mankind.(Au) [BG] Ki
 73 Marine Geophysical Research.(H) [RG] Ki
 74 Messtechnik.(G) [KG] Ma
 75 Metal Progress.(A) [KG] Ki
 76 Metals Science.(A) [KG] Ki
 77 Metals Technology Journal.(E) [KG] Ki
 78 Monthly Crimatic Data for the World.(A) [SG] Ki
 79 Norwegian Martime Reserch.(N) [SG] Ki
 80 Nucleic Acids Reserch.(E) [YG] Ki
 81 Nueu Deutsche Literature.(G) * [Kyo] Ki
 82 OECD Econoc ic Surveys.(F) [SG] Ma
 83 Oceania.(Au) [BG] Ki
 84 Oral Implantology.(A) [ShG] Ko
 85 Pediatric Radiology.(G) [IG] Ki
 86 Perspecta.(A) [KG] Ki
 87 Pis'ma v Astronomicheskii Zhurnal.(R) * [RG] Na
 88 Plant Science Letters.(H) [NG] Ki
 89 Pulp & Paper International.(A) * [E] Ma
 90 Research in Education.(A) [KyG] Ki
 91 Revue de Litteraturee Comparee.(F) [BG] Ki
 92 Revue de Mathématipues Pure et Appliquées.(Ru) * [RG] Na
 93 Revue Trimestrielle de Droit Europeen.(F) [HG] Na
 94 Rice Journal.(A) [NG] Ki
 95 Scripta Metallurgica.(E) [KG] Ki
 96 Social Audit.(E) [KeG] Ki
 97 Social Science Information.(H) [Kyo] Ki
 98 Southwestern Journal of Anthropology.(A) [BG] Ki
 99 Soviet Power Engineering.(A) [KG] Ki
 100 Stanford Law Review.(A) * [HG] Na
 101 Studies in English Literature.(A) [Kyo] Ki
 102 Tlanta.(H) [BG] Ki
 103 Theriogenology.(A) * [JG] Ki
 104 Thrombosis Research.(E) * [YG] Ma
 105 Tissue Antigens.(D) [IG] Ki
 106 Transport Theory & Statistical Physics.(A) [KG] Ki
 107 Turoica-Revue d'Etudes Turques.(F) [BG] Ki
 108 Ultrasound in Medicin and Biology.(E) [IG] Ki
 109 Unasylya. [NG] Ma
 110 Uniform Law Review.(A) [HG] Na
 111 Victrian Studies.(A) [HG] Na
 112 World Wood.(A) * [E] Ma
 113 Zeitschrift der Deutschen Morgenlaendischen Gesellschaft.(G) [BG] Ki
 114 Zeitungs Index.(G) [L] Ki
- 廢刊**
- 1 Annalen des Ponts et Chaussées.(F) [KG] Ki
 2 Construction Moderne.(F) * [KG] Ko
 3 Electricity on the Farm.(A) * [RG] Ma
 4 Geophysical Abstracts.(A) [KG] Ki
 5 Journal of Central European Affairs.(A) [SK] Ki
 6 Journal of Institute of Metals.(E) * [KG] Ki
 7 Journal of Iron and Steel Institute.(E) * [KG] Ma
 8 Mnagement Adviser.(A) * [KeG] Ki
- 購入中止**
- 1 Alpen Quartery.(S) [KyB] Ma
 2 Annales d'Immunologie.(F) * [MK] Ma
 3 Biochemistry, USSR.(A) [SG] Ma
 4 Biomedizinische Technik Biomedical Engineering.(G) * [OK] Na
 5 Bulletin de l'Institute Pasteur.(F) * [MK] Ma
 6 Bulletin de la Société Géologique de France.(F) [RG] Ma
 7 Current Index to Journal in Education.(A) [KyG] Ki
 8 Doklady Akademii Nauk SSSR. Ser. Geologiiia.(R) * [RG] Na
 9 EEG Journal.(A) [KyG] Ma
 10 European Journal of Forest Pathology.(G) [E] Ma
 11 Health Service Reports.(A) [IG] Ki
 12 Holztechnik.(G) * [NG] Ma
 13 International Pharmacopsychiatry.(S) * [IG] Ma
 14 Journal of Multivariate Analysis.(A) * [KG] Ma
 15 Journal of Pharmacokinetics and Biopharmaceutics.(E) [YG] Ma
 16 Journal de Radiologie d'Electrologie et de Medecine Nucléaire.(F) * [IG] Ko
 17 Journal of the Royal Society of New Zealand.(E) [SG] Ki
 18 Magnetopydrodynamics and Plasmas.(A) [KG] Ki
 19 Moon.(H) * [RG] Ma
 20 Netherlands Journal of Sea Research.(H) [SG] Ki

- 21 Revue Internationale du Trachome.(F) [IG] Ma
 22 Revue des Matériaux de Construction et de Travaux Publics.(F) [KG] Ki
 23 Rocznik Orientalistyczny.(Po) [BG] Ma
 24 Sociology of Education.(A) [KyG] Ma
 25 Soviet Education.(A) [KyG] Ki
 26 Teoreticheskaia i Matematicheskaia Fizika. (R) * [RG]. Na
 27 Thrombosis et Diathesis Haemorrhagica.(G) * [YG] Ma
 28 Times Educational Supplement.(E) * [KyG] Ki
 29 Tooling and Production.(A) * [KG] Ki
 30 Umschau in Wissenschaft und Technik.(G) * [KG] Ma
 31 Verhandlungen des Bundesart und Bundestag. (G) [HG] Ki
 32 Wood Working and Furniture Digest.(S) [NG] Ki
 33 Zeitschrift für Haut und Geschlechtskrankheiten.(G) * [IG] Ma
 34 Zeitschrift für Laryngologie Rhinologie, Otologie und Ihre Grenzgebiete.(G) * [IG] Ma
 35 Zeitschrift für Rechtsmedizin.(G) * [IG] Ma
 36 Zentralblatt für die Gesamte Kinderheilkunde. (G) [IG] Ma

略 語 表

BG	文 学 部
CC	大型コンピューターセンター
E	農学部附属演習林
HG	法 学 部
IG	医 学 部
IgB	医学部附属病院
JG	獣 医 学 部
KeG	経 済 学 部
KG	工 学 部
MK	免疫科学研究所(旧結核研究所)
KyB	教 養 分 館
KyG	教 育 学 部
KyO	教 養 部
L	附 属 図 書 館
NG	農 学 部
NJ	農学部附属農場
OK	応用電気研究所
RG	理 学 部
SG	水 産 学 部
ShB	歯学部附属病院
ShG	歯 学 部
SK	触 媒 研 究 所
SL	スラブ研究施設
TK	低温科学研究所
YG	薬 学 部

◇ 人事往来 ◇

新図書館委員

大 石 武	(薬学部助教授)	49. 11. 1 "
山 畠 正 男	(法学部教授)	50. 4. 1 "
真 野 脩	(経済学部 ")	"
松 本 毅	(理学部 ")	"
栗 原 堅 三	(薬学部助教授)	"
根 井 外喜男	(低温研教授)	"
小 山 富 康	(応電研 ")	"
山 下 慎 子	(免疫研助教授)	"
奥 山 次 良	(文学部 ")	50. 5. 15 "

退 職

岡 野 ふ じ	(整理課受入掛)	50. 4. 1付
大 島 澄 子	(")	"

昇 任

坂東慧	整理課長	(京都大学数理解析研究所図書掛長)	50.	4.	1付
石川雅夫	整理課々長補佐	(工学部図書掛長)			"

配 置 換

福士杏子	整理課受入掛	(水産学部図書掛)	50.	2.	16付
田中一郎	" 受入掛長	(法学部図書掛長)	50.	4.	1付
徳田洋一	閲覧課第一運用掛長	(閲覧課運用掛長)			"
坪田充弘	" 第二運用掛長	(教育学部図書掛長)			"
山本幾夫	" 参考掛長	(獣医学部 ")			"
秋月俊幸	整理課	(閲覧課参考掛長)			"
川端美明	整理課総務掛	(法 学 部)			"
桜庭恒弥	" 受入掛	(")			"
池内斐子	"	(")			"
諏訪田義美	"	(")			"
福士杏子	" 整理掛	(整理課受入掛)			"
藤島隆	"	(閲覧課運用掛)			"
桑原蔚	閲覧課第一運用掛	(")			"
大垣雅子	"	(")			"
山下まり子	"	(")			"
吉田由貴子	"	(")			"
笹川郁夫	"	(")			"
長田俊一	"	(")			"
矢野誠	"	(" 参考掛)			"
大家克己	閲覧課第二運用掛	(閲覧課運用掛)			"
池田千恵子	" 参考掛	(")			"
富沢弘行	整理課総務掛	(医 学 部)	50.	5.	1付
笹川郁夫	" 受入掛	(閲覧課第一運用掛)			"
沓掛裕子	閲覧課第一運用掛	(文 学 部)			"
谷内聰	教養分館閲覧掛	(農 学 部)			"
斉藤温子	教育学部	(整理課受入掛)	50.	2.	16付
石黒克介	工学部図書掛長	(" 受入掛長)	50.	4.	1付
江坂眞	経理部主計課	(" 総務掛)	50.	5.	1付
桑原蔚	低温科学研究所	(閲覧課第一運用掛)			"
山下まり子	教育学部	(")			"
長田俊一	歯 学 部	(")			"
佐藤清一	文 学 部	(教養分館閲覧掛)			"

転 出

浅野次郎	東京大学附属図書館整理課長	(整理課長)	50.	4.	1付
村上肇	小樽商科大学附属図書館事務長	(整理課々長補佐)			"
荒木修	東京工業大学附属図書館	(整理課受入掛)	50.	5.	1付

新 採 用

小西和信	整理課受入掛		50.	4.	1付
五十嵐哲郎	"				"
菊池健二	閲覧課第一運用掛		50.	6.	16付



北海道大学附属図書館報 「榆蔭」 (通巻38号)

1975年7月31日 発行 発行人 齊木一郎

編集委員 坂東 慧(長)・横山梅雄・石川雅夫・宮部 徹・佐藤忠勝・田中一郎
似鳥正吾・徳田洋一・坪田充弘・山本幾夫・高橋 裕

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北8条西5丁目 電話代表 711-2111 (2966)

印刷所 文栄堂印刷所 札幌市中央区北3条東7丁目 電話代表 231-5560-5561